

# 平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	公害相談業務事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	市民からの苦情に対する相談
事業内容	市民から申し立てのあった、野焼きや振動・騒音・不法投棄に対して、現場を確認し市民の相談を受ける。			
事業開始から現在までの状況変化	年々、開発が進み人口が増えていることから、相談の内容が多岐にわたってきている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	苦情・相談件数	261	150	177	件	↑↑↑	燃焼、不法投棄、苦情の合計
②								
③								
④								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		861,360	838,440	829,112				
事業費(b)(円)		/						
うち一般財源		/						
職員給与費(c)(円)		861,360	838,440	829,112				
人役・職員(人)		0.12	0.12	0.12				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）		/						
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）		/						

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	事務改善による経費の削減	③取り組みの課題	電子ベース化した苦情データの活用
②今年度(H26)に実施した取り組み	電子ベース化した青草や枯れ葉の苦情データを活用し効率的に事務を進め活用した。	④今後の改善計画	苦情処理システム化による改善